

2025年7月第1週【7/4発行】

小学生用教材 佳子様、ブラジルを公式訪問 模範解答と指導の手引

### 教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝7:00に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ3週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、[tsubaki.yuki1229@gmail.com](mailto:tsubaki.yuki1229@gmail.com)にお問い合わせください。

Instagramでも毎週金曜に「教材発行しました」のお知らせを出しているため、フォローしていただければ幸いです。

★椿由紀 Instagram [https://www.instagram.com/yuki\\_tsubaki2020/](https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/)

### この教材の使い方

- 1) この教材はコピーOKです。生徒の人数分、配布してください。
- 2) Zoomなどのオンライン授業で、画面共有しての使用も歓迎します。
- 3) 動画は自由に授業でご活用ください。音声ファイル(有料)のリンクは、生徒に送ってご活用下さい。
- 4) Wordファイルは自由に加工可能です。問題の削除、本文や設問の変更、加筆や画像の追加もご自由にどうぞ。
- 5) 設問の言語(英語/日本語)や難度はご自由に調整してください。全てのご要望に個別対応できませんが、アレンジは大歓迎です。
- 6) 文法・スペルミスには注意していますが、万一の誤りは後日HPに訂正版を掲載します。発見された場合はご連絡いただくと助かりますが、修正してそのままご使用いただいても構いません。
- 7) 全ての教材に暗唱文(重要文法、使える表現を含むキーセンテンス3文)を付けています。「夢タン」著者の木村達哉先生のセミナーをヒントにしています。音読・暗唱は英語上達の近道です。生徒のレベルに応じてご活用ください。(暗唱文のディクテーションまたは発音練習をしてから、本文に入る、という使い方できます)

### 参考にした英語記事

[https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250609\\_10/](https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250609_10/)

<https://www.asahi.com/ajw/articles/15843066>

<https://japannews.yomiuri.co.jp/society/imperial-family/20250604-259446/>

<https://www.ntv.co.jp/englishnews/articles/202196001efp6l7tza4f.html>

<https://jen.jiji.com/jc/i?g=eco&k=2025061700980>

[https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250608\\_09/](https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250608_09/)

<https://www.asahi.com/ajw/articles/15831123>

<https://english.kyodonews.net/news/2025/06/6fee4c28b0e3-japans-princess-kako-leaves-for-brazil-to-mark-130-years-of-ties.html>

<https://apnews.com/article/princess-kako-lula-brazil-meeting-3aed4fbbfb06cd521d5d6d5eeb0c541e>

### イラストをお借りしたウェブサイト

<https://illustimage.com/?id=4280>

<https://nurie-park.com/nurie/1988>

<https://tabisozai.net/tag/rio-de-janeiro/>

<https://www.sozai-library.com/sozai/4949>

### 0. 低学年用 英語ニュース

★低学年用のニュース教材は、ニュースに関心のありそうな低学年(小学3年生以下)の生徒さんや、

「時間がないので、正規の小学生教材を要約したものを使いたい」という場合にお使ください。

★1 ページ目には易しい設問をつけているので、「英語でニュースを勉強できた!」という**知的好奇心**を満たしたり、

「質問の答えを、英語で書けた!」という**達成感**を、生徒さんたちに持ってほしいです。



## 英語ニュース教材・指導の手引き(小学生・中学生 共通)

このたびの「佳子内親王殿下によるブラジル公式訪問」の英語ニュースを、生徒さん達がブラジルという国を学ぶ絶好の国際理解教材にしたいと考え、作成しました。

### ◇ 地理的な理解を促す授業を

まずは地球儀や世界地図を用いて、ブラジルの位置を確認しましょう。南半球に位置する広大な国であること、面積の大きさを視覚的に示すことで、生徒さん達の興味を引き出すことができます。また、佳子様が訪問された「コルコバードの丘」や「イグアスの滝」といった名所の写真・動画を見せてあげると、より強く印象を残すことができると思います。

### ◇ 日本とブラジルの深いつながり

今年は日本とブラジルの国交樹立 130 周年という節目の年だそうです。両国は地球の反対側に位置し、物理的な距離は離れているものの、歴史的には深い絆があります。明治時代、多くの日本人がブラジルへと移住し、現在ではブラジルに世界最大の日系人社会が築かれています。こうした背景は、国際理解教育の中でも極めて重要な要素となるでしょう(※中学生向け教材で詳述)

◇ 時間があれば、こちらの過去のニュース動画も、授業でご活用ください。

	リオのカーニバル 椿由紀のやさしい英語ニュース [2024 年 2 月のニュース教材] <a href="https://www.youtube.com/watch?v=PUA6XJTbXeQ">https://www.youtube.com/watch?v=PUA6XJTbXeQ</a>
-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ◇ 日系人コミュニティへの敬意を込めて

今回の佳子様のご訪問は、日本とブラジルの国際親善にとどまらず、「日系ブラジル人コミュニティとの絆を深める」という大きな意味をもって行われました。ブラジルは、世界最大の日本人移住者の子孫が暮らす国。佳子様のご訪問は、そうした方々への敬意と感謝を示す、貴重な機会となりました。

### ◇ 歴史の学びと子どもたちの感受性

中学生に尋ねたところ、明治期のブラジル移住については学校の歴史授業で学ぶとのこと。

私が作成した「小学生用の 1 分ニュース YouTube 動画」で引用させていただいた下記のポスターも、「教科書で見たことがある」と話していました。

<https://www.ongtrabras.org/2010/02/09/ブラジル移住の歴史/>

中学生たちは、「明治時代の日本は貧しくて、人々は生きるために異国へ渡らなければならないほど、追い詰められていたけど、ブラジルに移住した後も、労働はつらいし、差別があったりして、厳しかったんでしょね」と、真剣な面持ちで語ってくれました。

### ◇ 日系ブラジル人の友人からのメール

個人的な話ですが、私には大切な日系ブラジル人の友人(横浜在住)がいます。

15 年近く前に、中国語勉強サークルで知り合って友達になり、今でも時々、コーヒーを飲みながら話します。

(彼はブラジルで生まれ育ち、18 才で日本にやってきて、今も日本に住んでいます。日本人の奥さんと結婚し、

3 人のお子さんのパパで、ポルトガル語と日本語はもちろん、英語とスペイン語も流ちょうに話す頭の良い人です。

IT 系の会社に勤めており、週末は琉球空手の道場で師範をしています。)

彼はよく、「ぼくの故郷、ロンドリーナではね…」と誇らしげに自分の国のことを語ってくれます。

彼と出会う前まで、ロンドリーナという町の名前を聞いたことが一度もありませんでしたが、

今回、佳子様が訪問された都市の中にロンドリーナも含まれていたのも、私は感激し、思わず彼にメールを送りました。すると、10分後に、下記の返事が返ってきました。彼の許可をもらって、ここにそのお返事を載せさせていただきます。勉強になる情報ばかりでした。(生徒さんたちにも見せてあげてください)

メールの最後に、

Oh Sorry... too long history lol      ああ、ごめんね...長く歴史を話しすぎちゃった(笑)

と書かれていますが、彼は、私とコーヒーを飲みながら話している時も、ブラジルについて話し始めると、止まりません。メールの文から、佳子様の公式訪問に対する、彼の感激が伝わってきます。

日系ブラジル人の方々にとっては、皇室の方々に来て下さることは、素晴らしい誇りなのだ...と改めて感じました。

※ちなみに、日系ブラジル人で、日本語を流ちょうに話せる彼が、なぜ私には英語で話したり、英語でメールを送ってくるかと言うと、「英語の方がラクだから。特に、日本語の読み書きは、漢字が難しい」そうです。

Yes! She visited my hometown and met my family there because we're part of the Japanese community in Brazil.

I met Prince Akishino when I was sixteen, and when I was six, my father met the father of the current emperor, now Emperor Emeritus Akihito.

My father was the mayor and effectively the elder of our immigrant community—our town is famous for its Japanese migration history. What a coincidence: a Japanese friend of mine served on the princess's security staff. He's from Yokohama and went to Brazil to work at the Japanese consulate there.

It's a customary protocol for members of the imperial family—whether emperor, empress, or prince/princess—to visit Brazil every ten years to express their gratitude, since only Brazil and Peru supported Japan before and after the war.

During the Russo-Japanese War, Japanese immigrants in Brazil sent food and money back to Japan to help, as Brazil was prosperous from its coffee and sugar industries.

Oh Sorry... too long history lol

The princess visited a Japanese immigration museum that my father inaugurated as immigration leader.